

2月22日(金) 令和2年度 第7回 服務倫理委員会研修会を実施しました。

テーマ「福島県の教職員に臨むこと 不祥事の事例と分析」

今回は福島県の教職員に臨むことや不祥事の事例と分析についての動画を視聴し、全職員で話し合いました。

<研修会の様子>



・動画を視聴し資料を見ながら改めて「福島県の教職員に臨むこと」を再確認しました。
・「不祥事の事例と分析」では、過去の不祥事の事例や他県の事例を基に、なぜ不祥事が起こってしまったのか、不祥事にはどのような傾向があるのかなど4つの演習を通して自分の考えを整理したり関係法令の確認をしたりしました。

不正を行うリスク要因が誰にでも存在していることを忘れずに、不祥事は起こさないという断固たる意識と自覚が何よりも大切であることを再確認しました。

最後に「不祥事には年齢、立場は関係ない。毎年不祥事が起こっていてゼロにならない状況から、どうしたらゼロになるか考えなければならない。」「分析が大切だと思った。様々なことが関係して不祥事が起こる。児童生徒との距離を近くしたい気持ちをもちつつも、一線を超えないようにしていきたい。」など全職員で感想や意見の共有ができました。

保護者の皆様や地域の方々の信頼を失わないためにも、今後も十分に留意して職務に専念していきます。